


※  は市旗です。市全体の話題の場合に表記しています。

申良 **春の訪れを告げる「くしら二十三や市」**




1月30日・31日の2日間、申良総合支所周辺の道路約1kmを歩行者天国にして「くしら二十三や市」が開催されました。

この二十三や市は、江戸時代後期に正月用品の物々交換の場として始まったとされています。会場では、植木や春物の花木、刃物、陶器、衣類などが販売され、朝早くから品定めをする多くの買い物客でにぎわいました。また、剣道大会や消防音楽隊パレードのほか、保育園児による太鼓演奏やマーチング、猿廻しショーなども行われ、伝統ある行事を盛り上げました。



猿廻しショー

鹿屋 **和太鼓で全国高等学校総合文化祭に出場**



8月に宮崎県小林市で行われる「第34回全国高等学校総合文化祭 郷土芸能部門」に出場する鹿屋農業高校和太鼓部が、1月19日、市役所を表敬訪問しました。

この文化祭は、「文化部のインターハイ」とも呼ばれており、全24部門に全国から約2万人の高校生が出場します。生徒たちは「鹿屋をPRできるように頑張ります」と抱負を話してくれました。

株式会社ハイパーソフトと立地協定を締結



1月18日、鹿児島市に本社を持つ株式会社ハイパーソフトと鹿屋市の立地協定調印式が、市役所で行われました。同社は、システム開発などを行う会社として平成6年に創業。今回、川西町に研究開発センター（仮称）の設立を決定し、10月に操業開始の予定です。当初10人の新規雇用を予定しており、地域経済の発展に大きく貢献することが期待されています。

吾平 **冬の風物詩「名物あいら木市祭」**




1月9日・10日の2日間、吾平町麓の吾平町商店街約300mを歩行者天国にして「名物あいら木市祭」が開催されました。

吾平地区の冬の風物詩として、また、県内で一番早い木市として有名なあいら木市祭は、商店街の活性化と地域振興を目的に毎年行われているもの。通りには、地元商店街や市内外から約100店舗が出店し、植木や苗木、刃物類、地元加工グループの手作り加工品などが販売されたほか、たまごのつかみどり大会や歌謡ショー、お楽しみ抽選会なども行われ、市内外から訪れた多くの買い物客でにぎわいました。



たまごのつかみどり大会

申良 **旧申良総合支所跡地であずま屋の上棟式**



1月17日、旧申良総合支所跡地に建設するあずま屋の上棟式が行われました。これは、旧申良総合支所の跡地を有効利用するために、多目的駐車場と一体となって建設されるもので、屋根裏の野地板には、地域の小学生などが思いを綴ったメッセージが書き込まれています。当日は、多くの地域住民が集まって餅まきが行われたほか、ぜんざいも振る舞われました。

鹿屋 **優勝を目指してなわとび大会**



1月10日、市体育館で「第18回なわとびチャンピオン大会」が開催されました。

当日は、市内の小学校11校から4～6年生415人が参加。1回旋跳び、2回旋跳び、交差跳びで跳び続けた時間を男女別に競う個人戦や、長縄10人跳びで跳んだ回数競う団体戦が行われ、子どもたちは、優勝を目指してリズム良く軽快に跳んでいました。

鹿屋 **鹿児島空港で紅はるかをPR**



1月30日から2月12日まで、鹿児島空港で「紅はるかフェスタin鹿児島空港」が開催されました。

これは、青果用さつまいもの有望品種である鹿屋産「紅はるか」と「ばらのまち鹿屋」をPRしようといわれたもの。期間中は、紅はるかの焼き芋試食会や販売などが行われたほか、かのやばら園のPRなども行われ、空港を利用する多くの人でにぎわいました。

鹿屋 **世界の遊びを体験**



1月31日、リナシティかのやで、国際理解イベント「世界の遊び」が開催されました。

これは、市民と県内在住外国人が世界7か国の遊びなどを通して交流し、国際理解を図ることを目的に行われたもの。当日は、親子連れや子どもたちなど約100人が参加し、世界各国で親しまれている様々な遊びを体験しながら、楽しそうに交流を図っていました。

ストップ・ザ・メタボで健康づくり



1月30日、リナシティかのやで「県民公開講座」が開催されました。これは、食習慣や運動習慣を見直して健康寿命を延ばそうと行われたもので、約250人が参加。

当日は、「健康づくりとしてのスポーツ栄養」と題した講演などが行われたほか、参加者と講師の意見交換会が行われ、参加者は、真剣な眼差しで講師の話に耳を傾けていました。

肝属地区植樹祭を開催



1月30日、霧島ヶ丘公園ピクニック広場で「平成21年度肝属地区植樹祭」が開催されました。

この植樹祭は、肝属地区の各市町で毎年行われているもので、今年は鹿屋市で開催。当日は、約350人が参加し、キジの放鳥や各市町の首長などによる代表植樹、緑の少年団や林業関係者による一般植樹が行われ、0.85haに桜の苗木150本が植栽されました。